

# 妊娠期・産後期の口腔ケア実態調査

～妊娠でお口の変化を感じるプレママは多いが、妊婦歯科健診の受診は全体の29%～

## 調査結果まとめ

- 「気になるお口の症状がある」プレママは8割以上。  
「歯茎から出血」・「口臭」・「お口のネバネバ」が多く自覚されている。
- 産後は「歯みがきがおろそかになりがち」「虫歯になりやすい」を自覚するママが多い。
- 自治体の妊婦歯科検診制度が「ある」と答えた人は約半数、受診した（する予定）人はその6割。

### 【調査概要】

- ・期間：2010年8月
- ・方法：インターネットによるアンケート
- ・対象：現在妊娠中または乳幼児をお持ちのお母様
- ・回答数：670（うち妊娠中200）

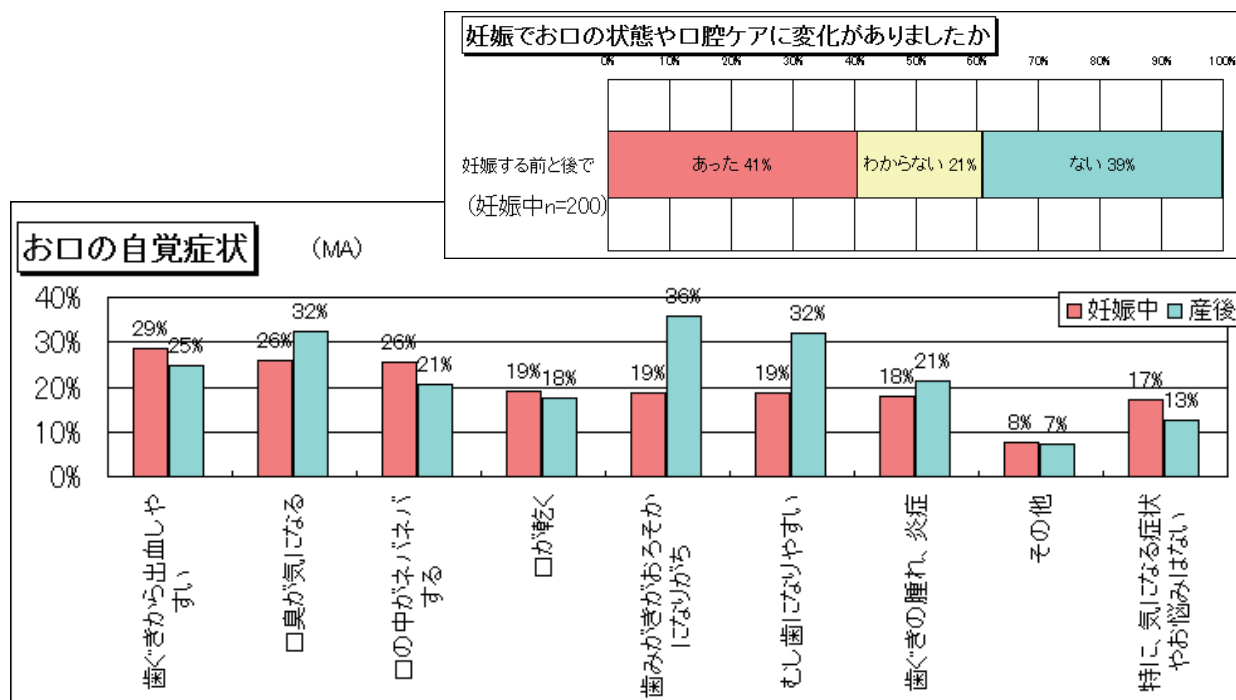
## ■妊娠期・産後期のお口の状態

### 8割以上のプレママが「気になるお口の症状がある」。

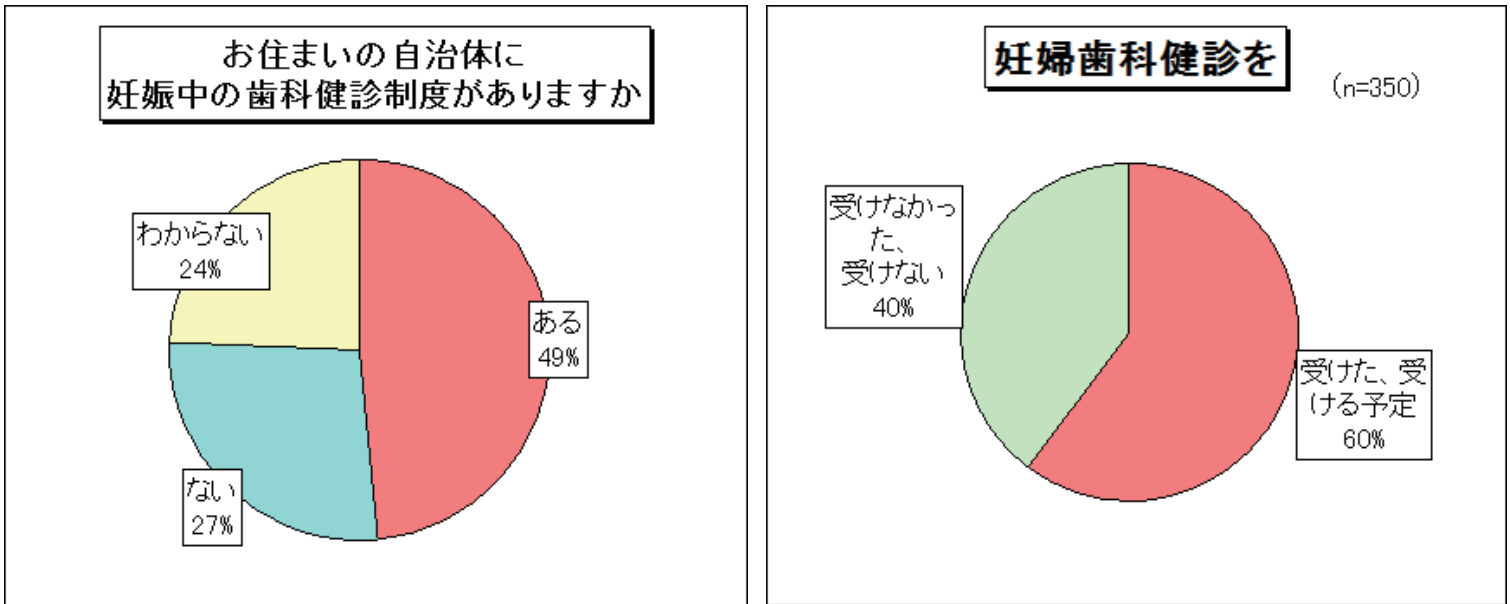
- ・妊娠でお口の状態に「変化があった」としたプレママは41%。現在「気になる症状はない」は17%にとどまり、8割以上のプレママが何らかのお口の症状やお悩みを感じています。
- ・具体的には、「歯茎から出血」・「口臭」・「お口のネバネバ」が多く自覚されています。

### 産後は十分な口腔ケアができないことが悩み。3人に1人が虫歯になりやすいと感じている。

- ・産後は「歯みがきがおろそかになりがち」がお悩みのトップ。
- ・「虫歯になりやすい」と感じるママが妊娠中と比べて増え、口腔環境の悪化が実感されています。



## ■妊娠中の歯科健診について

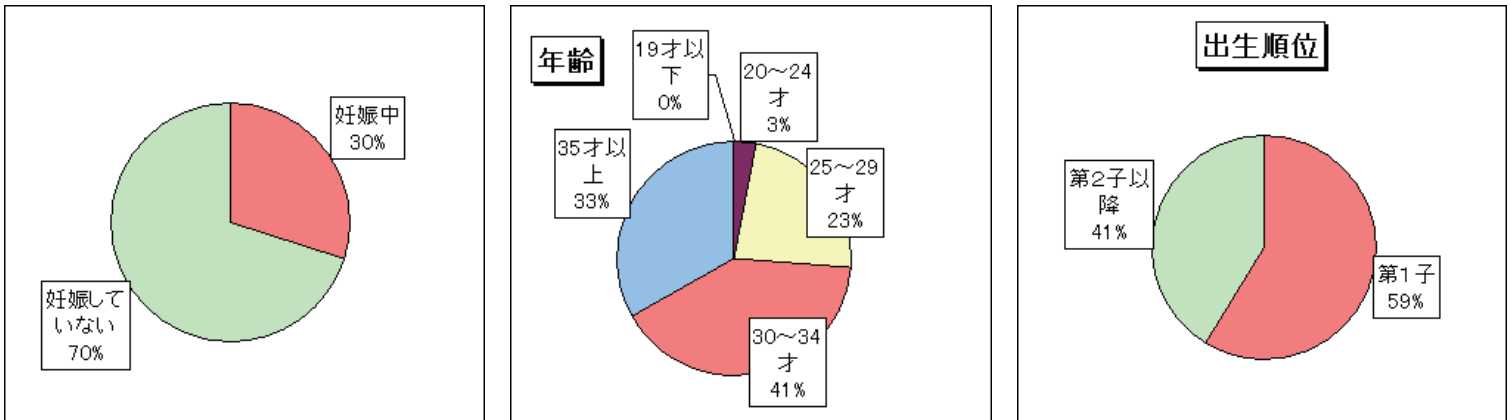


### 自治体の「妊婦歯科健診制度あり」半数。受診するプレママは全体の29%。

- ・自治体の「妊婦歯科健診制度あり」が約半数。一方、4人に1人は「わからない」で、制度があっても認知されていない可能性があります。
- ・さらに受診した（する予定）プレママは6割で、制度があっても受診しない人が4割います。
- ・その結果、妊婦歯科健診を受診するプレママは全体の29%にとどまっています。

妊娠期の口腔環境向上のためには、健診制度の認知や受診率の向上が望まれるとともに、家庭での口腔ケア方法など、関連情報や知識の普及も必要と考えられます。

## ■回答者プロフィール



## ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4 TEL03-3661-4200 (代)  
 ホームページ <http://www.pigeon.co.jp/> コミュニティサイト <http://pigeon.info/>  
 【本資料に関するお問い合わせ先】 コミュニケーション・普及グループ